



# しらとり

学校だより No.4

令和元年9月5日(木)  
銚田市立白鳥西小学校

2学期が始まりました。  
子供達の「がんばる姿」を見付けていきたいと思ひます。

## 【始業式の話】

2学期の始業式にあたり、「星野富弘」さんの話をしました。

『鈴の鳴る道』『速さのちがう時計』などたくさんの詩画集を出版されているので、保護者の方の中にもご存じの方がいらっしゃるかと思ひます。



星野さんは大学卒業後に中学校の体育の先生になります。しかし、2ヶ月後にクラブ活動の指導中に大けがをして、首から下が動かせなくなってしまいます。

自分は生きている価値がないと思ひながら、入院生活を送っていた星野さんにある出来事が起きます。

同室の中学生の男の子が退院することになり、その子から「ぼうしに寄せ書きをしてほしい」と頼まれたのです。

仲良くしてくれていた子だから何とか寄せ書きを書いてあげたいと思ひた星野さんは、口にペンをくわえて字を書こうとしましたが、書けたのはたった一つの点だけ。

それでも、男の子はとても喜んでくれました。

星野さんはこのことがきっかけとなり、字を書くことで生きる喜びを見つけます。この日から、星野さんの努力が始まります。文字通り、血のにじむ努力を重ね、ついには先ほどあげた詩画集を出せるまでになります。

と、そんな話を子供達にしました。  
そして、次のような話をして終わりました。

みなさんは自分の足で歩いたり走ったりできます、思いっきり体を動かすことができます、みなさんは本当に恵まれています。



今日から2学期。  
みなさんが一生懸命に頑張ってくれることを願っていますと。

## 「今学期の目標」発表！

目標を考えて大勢の前で発表する経験は、本人にとって貴重なと思います。



3名とも立派な発表でした。

〔学年代表者〕

2年生代表：札 凜香

4年生代表：宮内 琉人

6年生代表：大内 郁弥

## 「共育」の大切さ

チンパンジーの子供は、母親だけの手で育てられる。

人間の子供は、親や家族、多くの人に関わる中で育つ！

以前、ある研修会で、講師の先生より次のような話をお聞きしました。

- 人とチンパンジーは同じ霊長類としてとても近い関係にあるが、子育てについては大きな違いがある。
- チンパンジーは子供を生むと、その後5年間は子供を産むことがない。
- チンパンジーの母親は子供を生むと、その後は子育てに専念することになる。
- チンパンジーの社会では子育てに関わるのは母親しかいないので、母親はおよそ5年間という歳月を一人の子供の子育てに捧げることになる。
- 人間の場合は、第1子を生んでも第2子・第3子と生むことができる。それは、人間の子育てが母親だけでなく父親や家族、多くの人々の中で行われるシステムになっていることを意味している。



と、このような話でした。

要は、チンパンジーの社会では、夫婦や家族という概念がないために母ザル一人が子育てをするしかないということであり、それに比べて人間社会では、子育ては母親一人の仕事ではないということです。人間社会の子育ては多くの人に関わることを前提にしているわけです。

こう考えると、私達誰もが「共に育てる」という意識をもってみんなで子供達に関わっていききたいものです。私達教師もちろん、保護者の皆様にも地域の皆様にも。

これからの教育は「共育」になっていくと講師の先生は話されていました。

### 避難訓練を実施しました！

2日に「地震・火災の避難訓練」を行いました。

今回は、安全に避難することを第一に考えて実施しました。最後の学年が避難し終えるまで3分30秒あまりでした。

「東日本大震災」の際は、揺れが少し収まった中を子供達の手を引き避難した覚えがあります。

大きな地震のときは大人でも慌ててしまい、適切な対応がとれないものですが、自分の身は自分で守れる子供を育てていきたいと思えます。



### 除草作業、ありがとうございます！

8月31日（土）に保護者の皆様に2時間も作業をしていただきました。お陰様で校庭をはじめとして校内が大変きれいになりました。

現在、山口工務店様に「土手」の除草を行っていただいております。暑い中で危険な作業をしていただき、有り難く思います。



きれいな環境の中で運動会が実施できます。ありがとうございます。